

混雑空港運航許可申請事案補足 説明資料

【福岡空港】

令和6年11月14日

航空局航空ネットワーク部航空事業課

福岡空港の概要

■福岡空港

位置: 福岡市博多区

面積: 346ha

滑走路: 2,800m × 60m

運用時間 / 24h

利用時間 / 7:00 ~ 22:00

(航空機騒音配慮のため)

■発着回数(令和5年)

へりを含む 18.2万回 / 年

へりを除く 17.6万回 / 年

■利用状況(令和5年)

旅客	国内	1,767万人
	国際	640万人
	計	2,407万人

貨物	国内	11.8万トン
	国際	2.7万トン
	計	14.5万トン

■福岡空港平面図



航空会社の概要(1)

会社名	ANAホールディングス(株) (スターアライアンス)		日本航空(株) (ワンワールド)	
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 13.7% ・日本カストディ銀行(信託口) 3.2% ・名古屋鉄道 1.6% 他 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 17.7% ・日本カストディ銀行(信託口) 6.2% ・京セラ 1.8% 他 	
保有機材	大型機 33機 中型機 108機 小型機 76機 リージョナル機 24機 合計241機 (R6.3月時点)		大型機 31機 中型機 72機 小型機 56機 リージョナル機 52機 合計211機 (R6.3月時点)	
免許日	(国内) 昭和28年10月15日 (国際) 昭和61年 1月31日		(国内) 昭和27年10月20日 (国際) 昭和28年 8月14日	
運航路線	(国内) 104路線 (国際) 58路線 (R6.11月時点)		(国内) 102路線 (国際) 53路線 (R6.11月時点)	
グループ企業	全日本空輸(ANA) エアージャパン(AJX) ANAウイングス(AKX) ピーチ・アビエーション(APJ)(※)		ジェイエア(JAR) 日本エアコンピューター(JAC) 日本トランスオーシャン航空(JTA) 琉球エアコンピューター(RAC) 北海道エアシステム(HAC) ジェットスター・ジャパン(JJP)(※) ZIPAIR Tokyo(TZP)(※) スプリング・ジャパン(SJO)(※)	

(※)印の航空会社はLCC(低コスト航空会社)で、上記の保有機材、運航路線には含まれない

航空会社の概要(2)

会社名	スカイマーク(株)	(株)AIRDO	(株)ソラシドエア	(株)スターフライヤー
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴与スカイ・パートナーズ 13.3% ・ANAHD: 13.2% ・UDS(DBJファント): 10.8% ・鈴与ホールディングス: 6.1% 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社リージョナルプラスウイングス 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社リージョナルプラスウイングス 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ANA ホールディングス 14.7% ・ジャパネットホールディングス 14.3% ・TOTO 4.0% 他
使用機材	ボーイング737型機(177席) 29機	ボーイング767型機 (288席) 4機 ボーイング737型機 (144席) 8機	ボーイング737型機(174~176席) 14機	エアバスA320型機(150~162席) 11機
許可等 取得日	平成10年7月28日	平成10年10月26日	平成14年5月21日	平成18年1月12日
運航路線	<p>(R6.11月時点)</p> <p>羽田=新千歳、神戸、福岡、 鹿児島、那覇、下地島 新千歳=茨城、中部、神戸、福岡 神戸=仙台、茨城、長崎、鹿児島、 下地島 福岡=茨城、那覇 鹿児島=中部、奄美 那覇=中部、神戸、茨城、下地島</p> <p>【国内 計23路線】</p>	<p>(R6.11月時点)</p> <p>羽田=新千歳、旭川、女満別、 釧路、帯広、函館 新千歳=仙台、神戸、中部、福岡 函館=中部</p> <p>【国内 計11路線】</p>	<p>(R6.11月時点)</p> <p>羽田=宮崎、熊本、長崎、 大分、鹿児島、那覇 中部=宮崎、鹿児島 那覇=福岡、宮崎、鹿児島、神戸、 中部、新石垣</p> <p>【国内 計14路線】</p>	<p>(R6.11月時点)</p> <p>羽田=北九州、関西、福岡、 山口宇部 福岡=中部</p> <p>【国内 計5路線】</p>
事業形態 の特徴	<p>全国展開型のビジネスモデルを追求。</p> 	<p>「北海道の翼」として北海道を拠点とするネットワークを構築</p> 	<p>宮崎に本社を置き「九州・沖縄の翼」として運航</p> 	<p>福岡(北九州)に本社を置き福岡を中心とするネットワークを構築</p> 

航空会社の概要(3)

会社名	ANAウイングス(株)	日本トランスオーシャン航空(株)	Peach Aviation(株)	ジェットスター・ジャパン(株)
主要株主	ANAホールディングス 100%	日本航空株式会社 72.8% 他	ANAホールディングス 93.0% First Eastern Aviation Holding Limited 7.0%	日本航空 50.0% カンタスグループ 33.3% 羽田センチュリー16.7%
使用機材	ボーイング737型機(166席) 39機 ボンバルディアDHC-8-400(74席) 24機	B737-800(165席) 14機	エアバスA320(180~188席) 33機 エアバスA321(218席) 3機	エアバスA320(180席) 19機 エアバスA321(232席) 3機
許可等取得日	平成14年3月6日	昭和48年7月17日	平成23年7月7日	平成24年4月6日
運航路線	(R6.11月時点) 羽田=新千歳、中部、伊丹、関西、福岡、那覇、神戸、稚内、紋別、中標津、函館、秋田、大館能代、庄内、八丈島、富山、小松、岡山、鳥取、米子、広島、岩国、石見、徳島、高松、高知、松山、大分、熊本、佐賀、長崎、宮崎、鹿児島 成田=新千歳、中部、伊丹 伊丹=新千歳、函館、福岡、青森、仙台、秋田、福島、新潟、松山、高知、大分、熊本、長崎、宮崎、鹿児島、那覇 関西=新千歳、那覇、石垣 福岡=新千歳、中部、小松、対馬、福江、宮崎、那覇 など 計104 路線	(R6.11月時点) 羽田=宮古、石垣、小松、岡山 中部=那覇 関西=那覇、宮古、石垣 那覇=小松、岡山、福岡、久米島、石垣、宮古 【国内 計14路線】	(R6.11月時点) (国内線) 関西=新千歳、仙台、成田、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、奄美、那覇、石垣 成田=新千歳、福岡、奄美、那覇、石垣 福岡=新千歳、那覇、石垣 新千歳=仙台、那覇 中部=新千歳、仙台、那覇 計23路線 (国際線) 関西=上海、香港、台北、高雄、仁川、バンコク 羽田=上海、台北、仁川 成田=台北、中部=台北、那覇=台北 計12 路線	(R6.11月時点) (国内線) 成田=新千歳、関西、福岡、那覇、旭川、高松、松山、高知、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島 関西=新千歳、那覇 中部=福岡、那覇 新千歳=福岡 18路線 (国際線) 成田=上海、台北、マニラ 関西=台北 中部=マニラ 計5路線
事業形態の特徴	ANAホールディングスの連結子会社 	沖縄を拠点とする日本航空の連結子会社 	ANAホールディングスの連結子会社 	日本航空から独立した事業運営 

航空会社の概要(4)

会社名	(株)ジェイエア 	アイベックスエアラインズ(株) 	(株)フジドリームエアラインズ 
主要株主	日本航空株式会社 100%	株式会社日本デジタル研究所 47.9% 前澤和夫 21.2% アールビバン株式会社 9.5% サザンインターナショナル株式会社 7.3% 他	鈴与株式会社 100%
使用機材	E170(76席)/E190(95席) 32機	ボンバルディアCL-600-2C10型機(70席) 9機	エンブラエル式ERJ170-100STD型機(76席) 2機 エンブラエル式ERJ170-200STD型機(84席) 13機
許可等取得日	平成8年10月31日	平成12年6月20日	平成21年2月27日
運航路線	(R6.11月時点) 羽田＝三沢、秋田、山形、山口宇部、宮崎 大阪＝函館、青森、三沢、秋田、花巻、山形、仙台、新潟、出雲、隠岐、松山、大分、福岡、長崎、熊本、宮崎、鹿児島 福岡＝新千歳、花巻、仙台、徳島、高知、松山、宮崎、奄美 新千歳＝女満別、青森、花巻、仙台、新潟 鹿児島＝奄美、徳之島 【国内 計37路線】	(R6.11月時点) 大阪＝仙台、福島、新潟、福岡、大分、鹿児島 福岡＝仙台、新潟、中部 新千歳＝仙台 仙台＝中部、広島 中部＝大分 【国内 計13路線】	(R6.11月時点) 静岡＝新千歳、出雲、福岡、熊本、鹿児島 松本＝福岡、新千歳、神戸 小牧＝青森、花巻、山形、新潟、出雲、高知、熊本、福岡 神戸＝青森、花巻 福岡＝新潟 新千歳＝山形 中部＝高知、出雲 【国内 計22路線】
事業形態の特徴	日本航空の連結子会社 	仙台空港・伊丹空港を拠点に地方路線を展開 	静岡空港を拠点に地方路線を展開 

航空会社の概要(5)

会社名	日本エアコミューター(株)  JAPAN AIR COMMUTER	天草エアライン(株) 	オリエンタルエアブリッジ(株) 
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・JAL 60.0% ・奄美群島12市町村 40.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県 53.3% ・熊本県天草島内2市1町 26.8% ・JAL 2.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎空港ビルディング(株) 40.9% ・長崎県 8.4% ・(株)ユーグレナ 4.8% ・ANAホールディングス 3.6%
使用機材	ATR72-600型機(70席) 2機 ATR42-600型機(48席) 9機	ATR42-600型機(48席) 1機	DHC-8-Q400型機(74席) 4機 ATR42-600型機(48席) 2機
許可等 取得日	昭和58年11月2日	平成12年1月21日	昭和36年12月18日
運航路線	<p>(R6.11月時点)</p> <p>大阪＝但馬、屋久島 福岡＝出雲、鹿児島、屋久島 出雲＝隠岐 鹿児島＝松山、種子島、屋久島、奄美、喜界島、 徳之島、沖永良部、与論 奄美＝喜界島、徳之島 徳之島＝沖永良部 那覇＝沖永良部 (片道)奄美－与論、那覇－奄美、与論－那覇</p> <p>【国内 計21路線】</p>	<p>(R6.11月時点)</p> <p>天草＝熊本、福岡 熊本＝大阪</p> <p>【国内 計3路線】</p>	<p>(R6.11月時点)</p> <p>福岡＝対馬、福江、宮崎、小松、中部 長崎＝壱岐、福江、対馬 中部＝宮崎、秋田</p> <p>【国内 計10路線】</p>
事業形態 の特徴	鹿児島空港を拠点として鹿児島県内離島路線等に就航 	天草空港を拠点として3路線を展開 	長崎空港を拠点として長崎県内離島路線等に就航 

福岡空港の発着調整基準

1. 発着回数は次の回数を限度とする。

1時間の発着回数	38回
うち到着回数	20回

※7:00～22:00における発着回数に適用

※21時30分から21時55分の発着回数については、前期ダイヤの21時30分から21時55分の発着回数(2024年冬季スケジュール期間においては12回)を上限とする。

2. 航空機の遅延による混雑を吸収するために、発着回数を抑制する時間帯「ファイヤーブレイクゾーン」を設定する。

- ・ファイヤーブレイクゾーンは、1日2回、それぞれ1時間ずつ設けることとし、各ファイヤーブレイクゾーンにおける発着回数の上限は28回とする。

※2024年冬期スケジュール期間(R6.10.27～R7.3.29)は、全曜日16:00～16:59及び21:00～21:59に設定

航空保安業務提供時間(運用時間)及び利用時間

5. (1)②関係

【福岡空港関係】

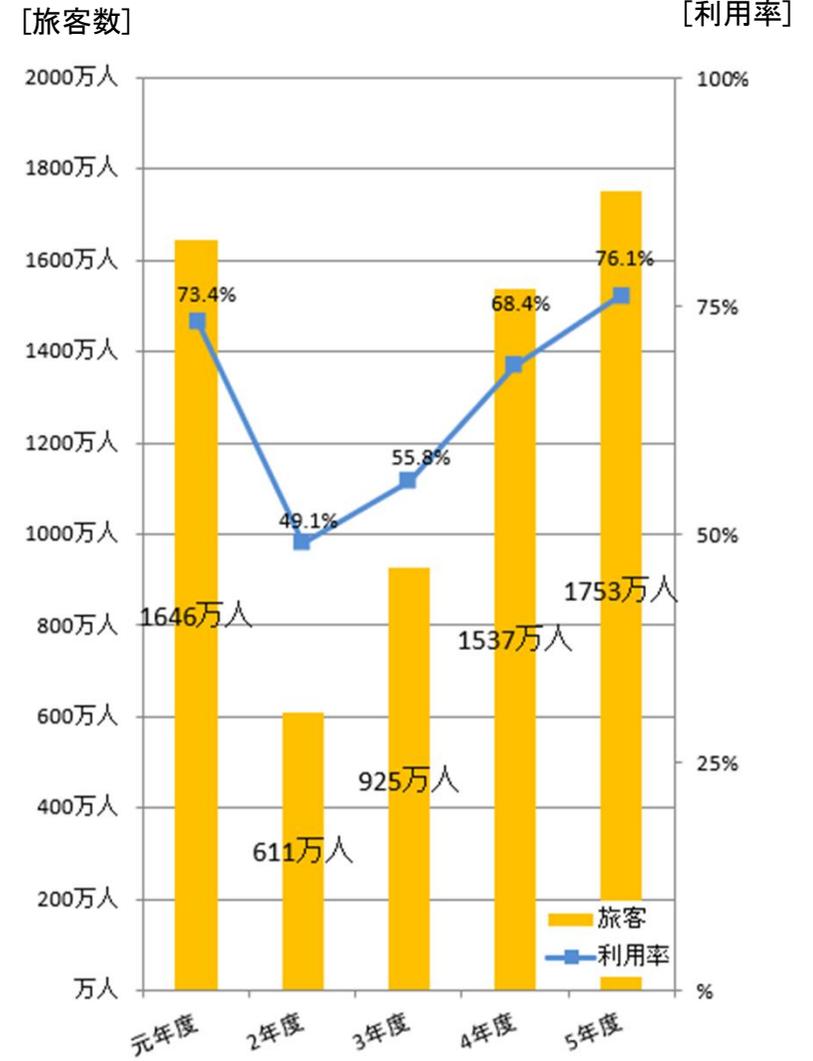
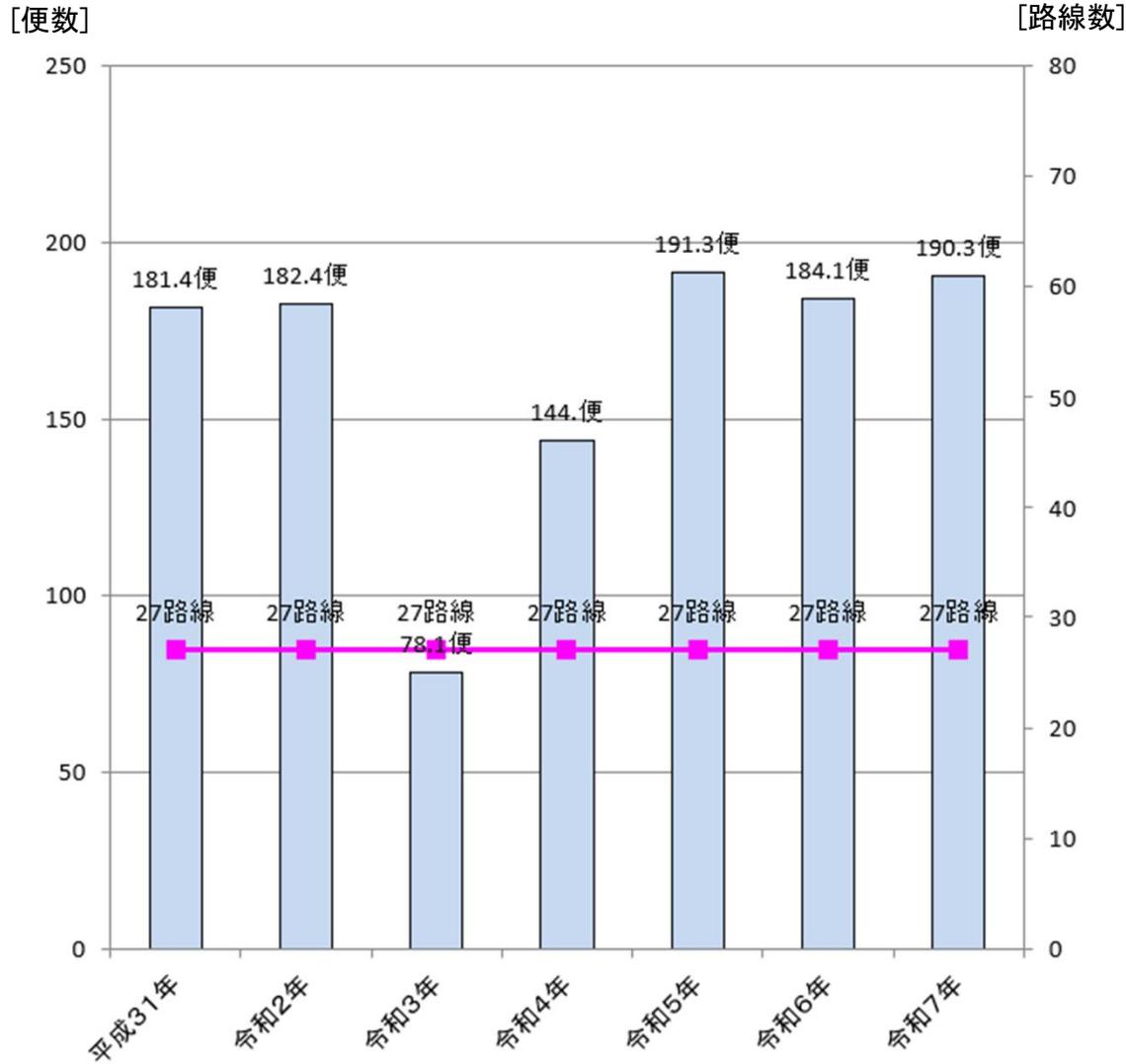
空港	運用時間	利用時間	滑走路
成田国際空港	24時間	6:00～24:00	A:4,000m B:2,500m
東京国際空港	24時間	24時間	A:3,000m B:2,500m C:3,360m D:2,500m
新千歳空港	24時間	24時間	A:3,000m B:3,000m
大阪国際空港	14時間	7:00～21:00	A:1,828m B:3,000m
関西国際空港	24時間	24時間	A:3,500m B:4,000m
中部国際空港	24時間	24時間	3,500m
福岡空港	24時間	7:00～22:00	2,800m
那覇空港	24時間	24時間	A:3,000m B:2,700m
花巻空港	11.5時間	8:00～19:30	2,500m
仙台空港	14.5時間	7:30～22:00	A:1,200m B:3,000m
新潟空港	14時間	7:30～21:30	A:1,314m B:2,500m
茨城空港	13.5時間	7:30～21:00	A:2,700m B:2,700m
松本空港	10.5時間	8:30～19:00	2,000m
静岡空港	14.5時間	7:30～22:00	2,500m
小松空港	15時間	7:30～22:30	2,700m
小牧空港	15時間	7:00～22:00	2,740m
出雲空港	13時間	7:30～20:30	2,000m
徳島空港	14.5時間	7:00～21:30	2,500m
松山空港	15時間	7:00～22:00	2,500m
高知空港	14時間	7:00～21:00	2,500m
福江空港	11.5時間	8:00～19:30	2,000m
対馬空港	13.5時間	7:30～21:00	1,900m
天草空港	12.8時間	7:40～20:30	1,000m
宮崎空港	14時間	7:30～21:30	2,500m
鹿児島空港	15時間	7:00～22:00	3,000m
屋久島空港	11時間	8:30～19:30	1,500m
奄美空港	11.5時間	8:00～19:30	2,000m
新石垣空港	13時間	8:00～21:00	2,000m

各機種ごとの地上滞在所要時間

区分	型式	所要時間
大型JET機	B777	45～55分
	A350	55分
中型JET機	B787	45分～55分
	B767	35～45分
小型JET機	B737	30～40分
	A320	30～45分
	A321	40～55分
	32X	75分
	ERJ	25分～30分
	CR7	30分
プロペラ機	DHC8	30分
	ATR	30～40分

福岡空港(国内線)路線数・便数・旅客数・利用率の推移

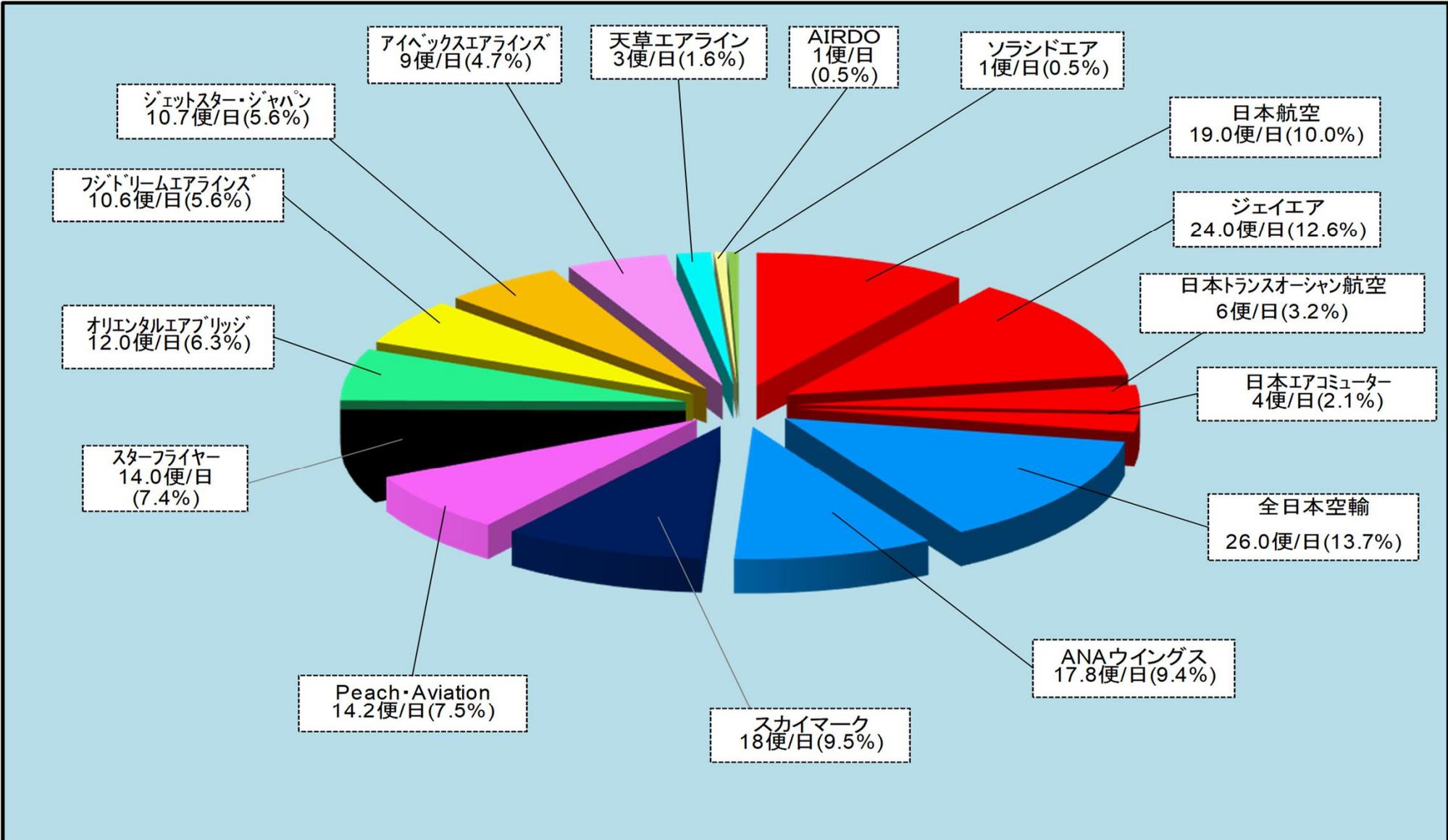
【福岡空港】



(注) 路線数は各年度2月ダイヤ、便数は実績(航空輸送統計年報より)

令和7年のみ便数は2~3月のダイヤ申請による便数

福岡空港(国内線)の航空会社別運航回数及びシェア



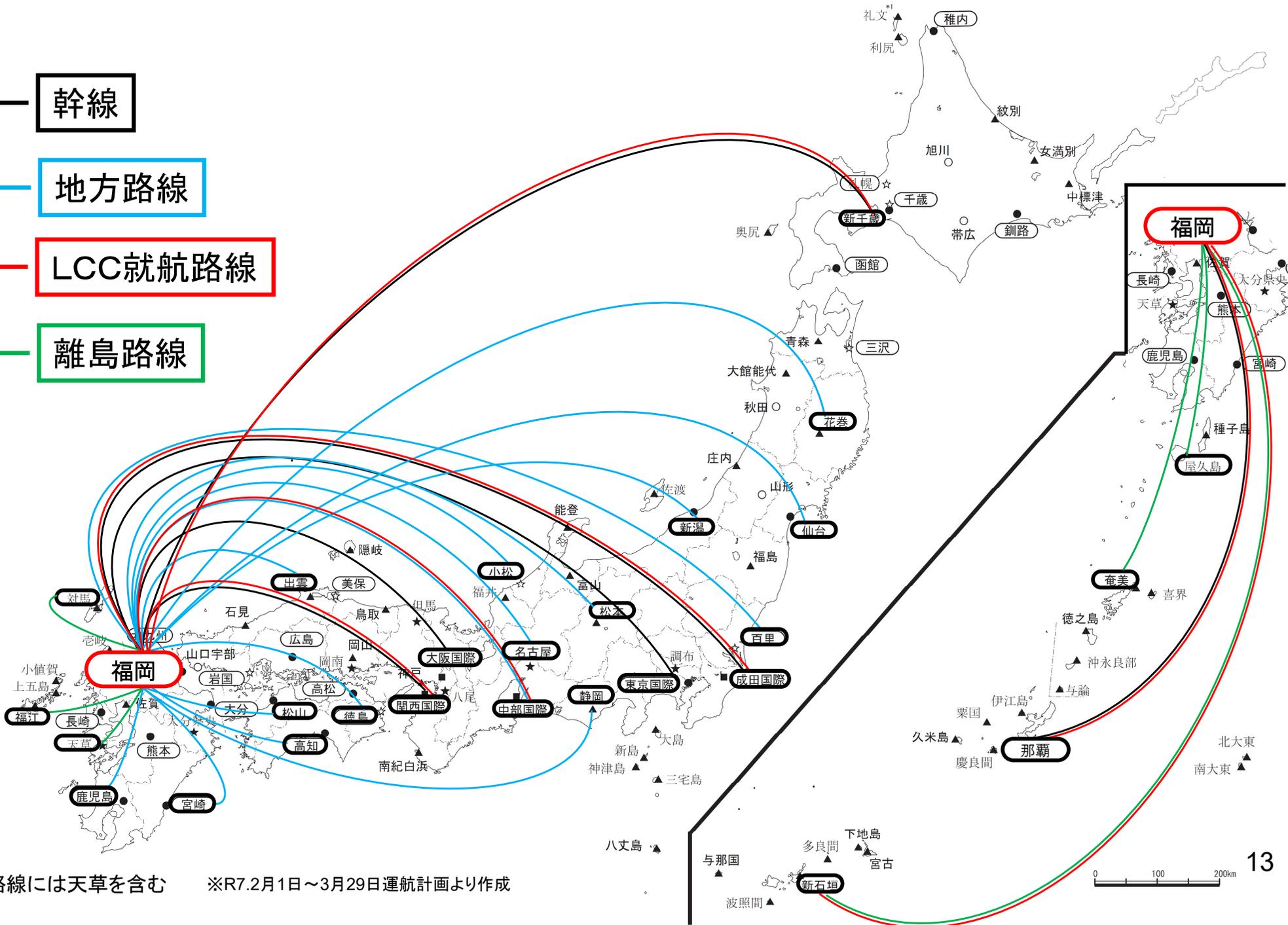
令和7年2~3月ダイヤ

運航便数: 190.3便/日

福岡空港における国内ネットワークの現状

5. (2)②関係

- 幹線
- 地方路線
- LCC就航路線
- 離島路線



※離島路線には天草を含む ※R7.2月1日～3月29日運航計画より作成

福岡空港発着路線の競合状況

5. (2)②関係

○ 4社以上競合路線:4路線 2~3社競合路線:8路線 単独:15路線

路線	全日本空輸	日本航空	スカイマーク	AIRDO	ソラシド ^{IA}	スターフライヤー	Peach Aviation	ジェットスター・ジャパン	アイベックスエアラインズ	ジェットドリームエアラインズ	オリエンタルエアーリッジ	天草エアライン
新千歳	2	3	2	1			1	1				
那覇	9	6	2		1		4					
中部	1					6		2.5	1		1	
羽田	19	17	13			8				1		
伊丹	5.8	4							1			
宮崎	1	7									5	
成田							4.8	7.2				
仙台		2							5			
新潟									2	1		
小松	2										2	
対馬	3										2	
福江	1										2	
花巻		1										
茨城			1									
松本										2		
静岡										3.3		
小牧										4.3		
出雲		2										
徳島		2										
松山		4										
高知		2										
関西							3.6					
天草												3
鹿児島		1										
屋久島		1										
奄美		1										
石垣							0.8					

※ 会社ごとの便数は、混雑空港運航許可申請における令和7年2月1日~3月29日の1日あたりの往復便数。